

# 国際交流



本校ALT

Crouch Aki 先生へインタビュー

## 国際理解教育のあゆみ

1988（昭和63）年度に「国際理解教育の推進」をテーマとして県の研究指定を受けて以来、本校では教科指導と特別活動とをとおして国際理解教育を進めてきました。1995（平成7）年度には「国際理解教育」を、本校の特色づくりの一つの柱として位置づけ、現在は次のような取り組みを行っています。

### （1）教科指導

1年生のオール・コミュニケーションBの授業では、アソルトン高校との文通やビデオレターの交換などをおこなってきました。今後はEメールを利用して、より日常的にコミュニケーションがとれるような環境を整えていくことが課題となっています。

### （2）特別活動

生徒有志による国際交流委員会を中心として次のような活動を行っています。

- ①姉妹校のアソルトン高校との相互訪問
- ②県内ハイスクールの訪問と交流
- ③留学生との交流会
- ④文化祭等でのPR活動

録高で1997年9月から Assistant Language Teacher (ALT)として活躍中の Aki Crouch 先生にインタビューしました。

#### Q：出身地は？

「アメリカのメリーランド州です。都会、農園、海岸など変化に富む環境で、住む人種も多様。私の学んだ高校では30以上の異なる民族の生徒たちが学んでいました。」

#### Q：来日した動機は？

「母方が日系で以前から日本に興味を抱いていました。5年前に二人の兄がALTとして日本で働いていたこともあって、私もALTになろうと決めました。」

#### Q：鎌高生の印象は？

「規則が緩やかで、皆がのびのびと生活しています。色々なことに熱中する姿がすばらしいと思います。」

#### Q：今、日本での関心事は？

「私のモットーは人をよく理解することです。今は、日本人々が何を考え、どんな夢や希望、そして不安を抱いているのか知りたいと思っています。」

#### Q：最後に鎌高生へのメッセージを

「皆さんとの出会いは私の日本での貴重な経験です。心を開いて将来の夢や大切な思い出など色々聞かせてくれてありがとう。 Always remember to shoot for the moon. Even if you miss, you'll be among the stars!」



1995年、本校はアソルトン高校と姉妹校提携し、本校の国際理解教育の推進に貢献しました。写真はアソルトン高校の訪問と交流の様子です。写真撮影は1995年10月。